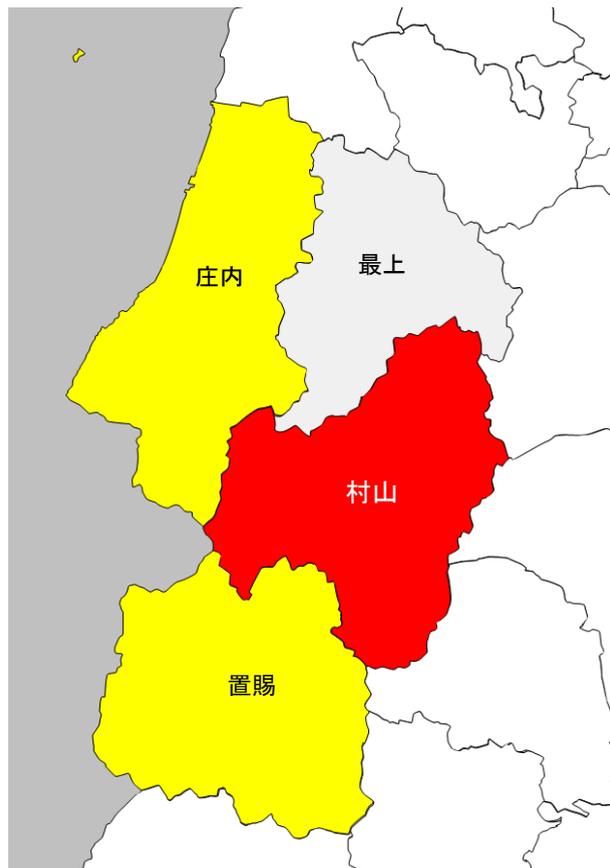


# 6. 山形県



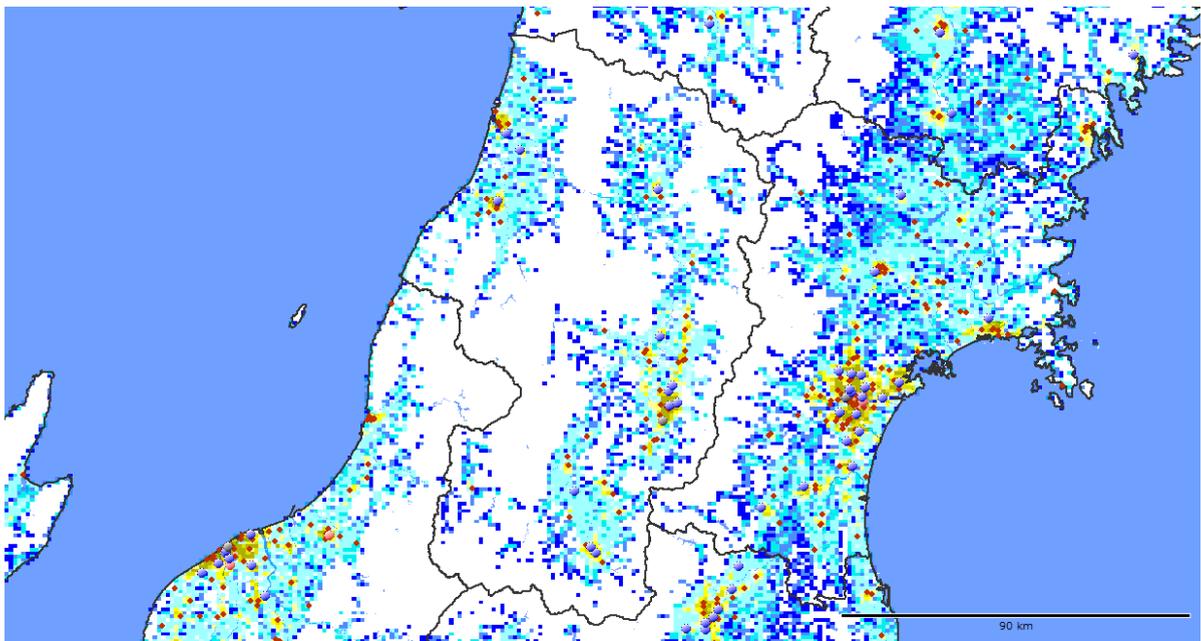
## 6. 山形県（2016年版）

### 目次

山形県	6 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料 .....	6 - 8
1. 村山医療圏 .....	6 - 20
2. 最上医療圏 .....	6 - 25
3. 置賜医療圏 .....	6 - 30
4. 庄内医療圏 .....	6 - 35

# 6. 山形県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （山形県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 山形県は、総人口約1116千人（2015年推計）、面積9323km<sup>2</sup>、人口密度は120人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 山形県の総人口は2025年に1006千人へと減少し（2015年比-10%）、2040年に836千人へと減少する（2025年比-17%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の190千人が、2025年にかけて207千人へと増加し（2015年比+9%）、2040年には210千人へと増加する（2025年比+1%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 山形県の一人当たり医療費（国保）は329千円（偏差値52）、介護給付費は283千円（偏差値58）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 山形県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.27、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.71で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が48（病院医師数48、診療所医師数48）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 山形県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、17009人（75歳以上1000人当たりの偏差値44）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が12439床（偏差値55）、高齢者住宅等が4570床（偏差値40）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、14505人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム43、軽費ホーム46、グループホーム49、サ高住40である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員（在宅）の合計は、1687人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-8%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

山形県の総人口は、2005年1216181人が、2015年に1116236人と8%減少し、2025年の人口が1005850人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

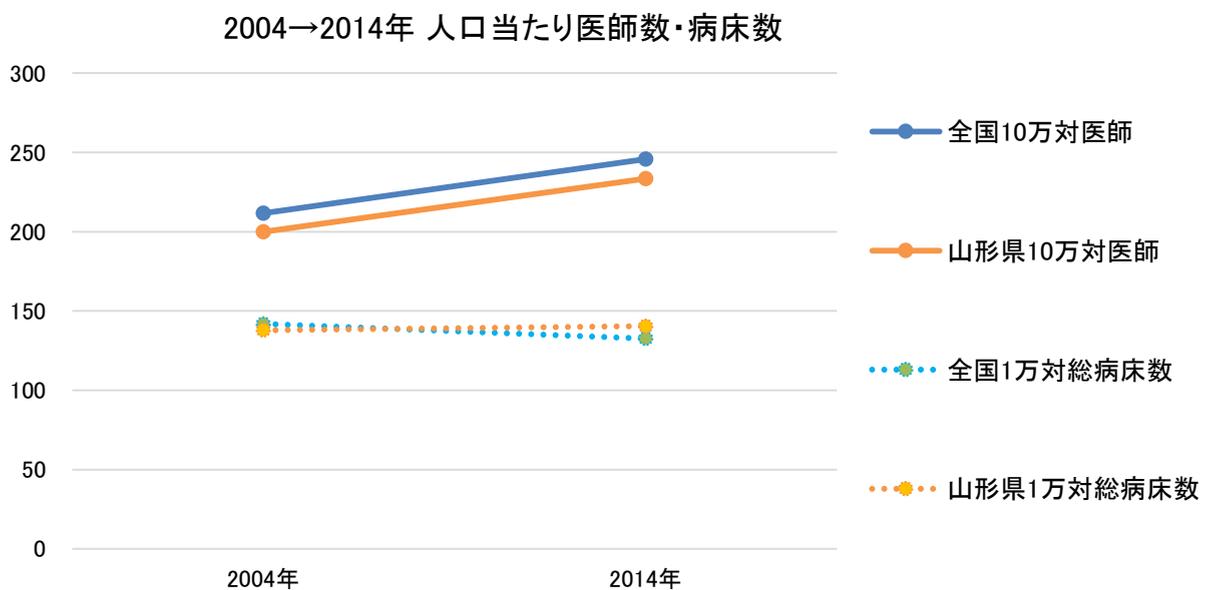
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が70(人口10万人当たり5.8病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に68(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が920(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に932(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、12診療所が増加した。

2004年の総病床数が16768床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に15670床(人口1万人当たり140(全国平均133)偏差値51)と、1098床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

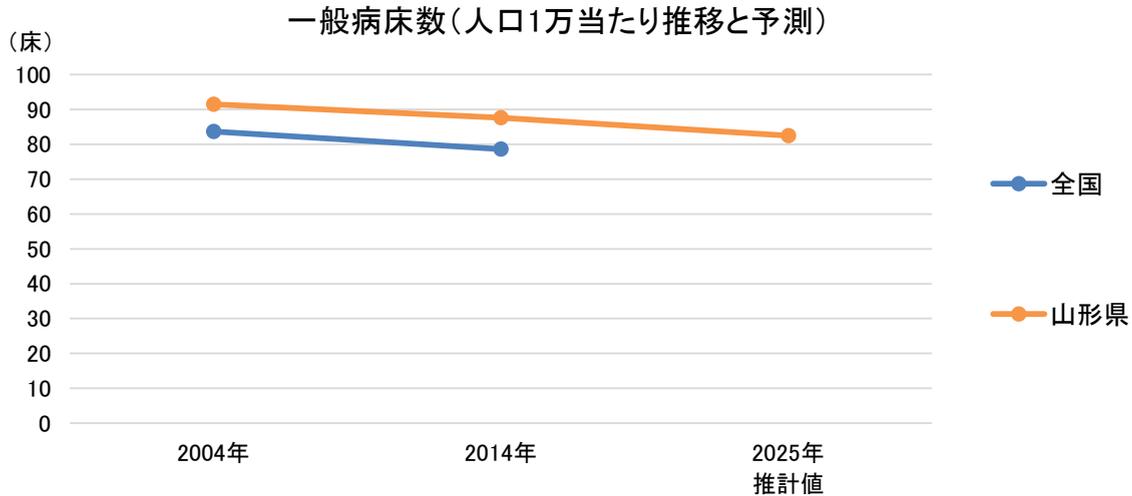
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2431人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に2606人(人口10万人当たり233人(全国平均246人)偏差値49)と、175人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 6. 山形県（2016年版）

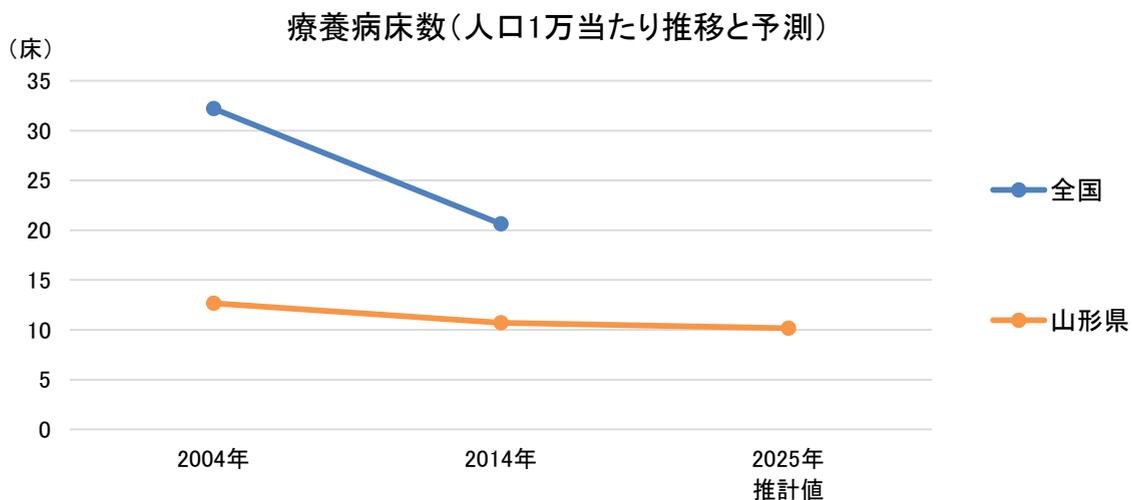
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11124床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に9775床(人口1万人当たり88(全国平均79)偏差値53)と、1349床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には8291床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



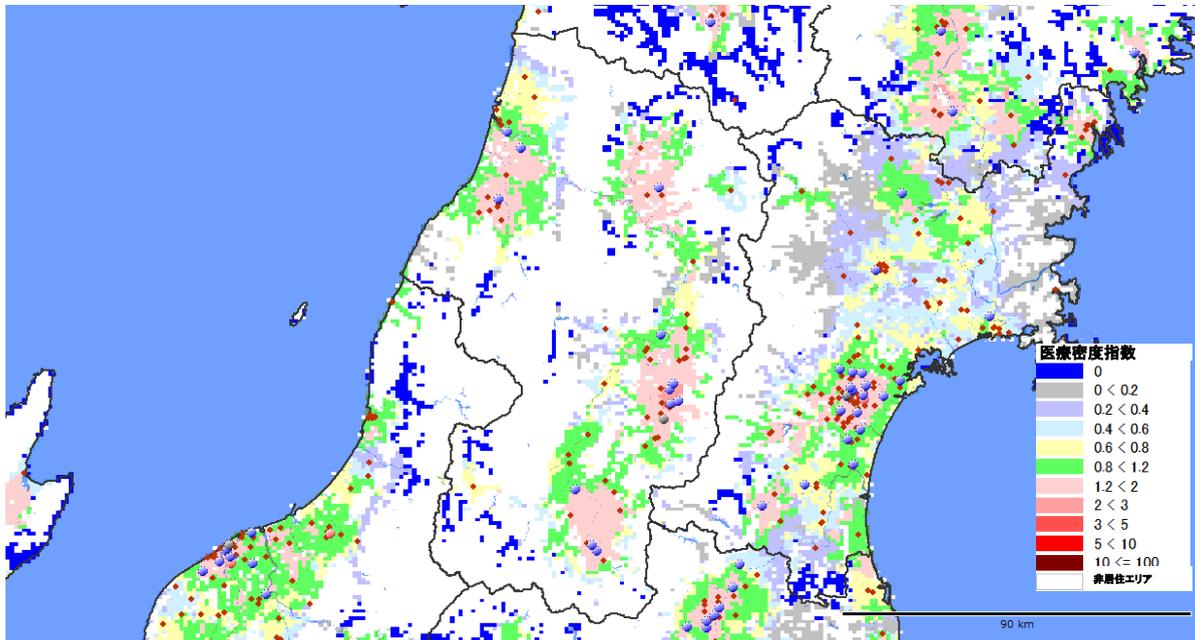
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1977床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に2036床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、59床の増加、率にして3%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2101床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

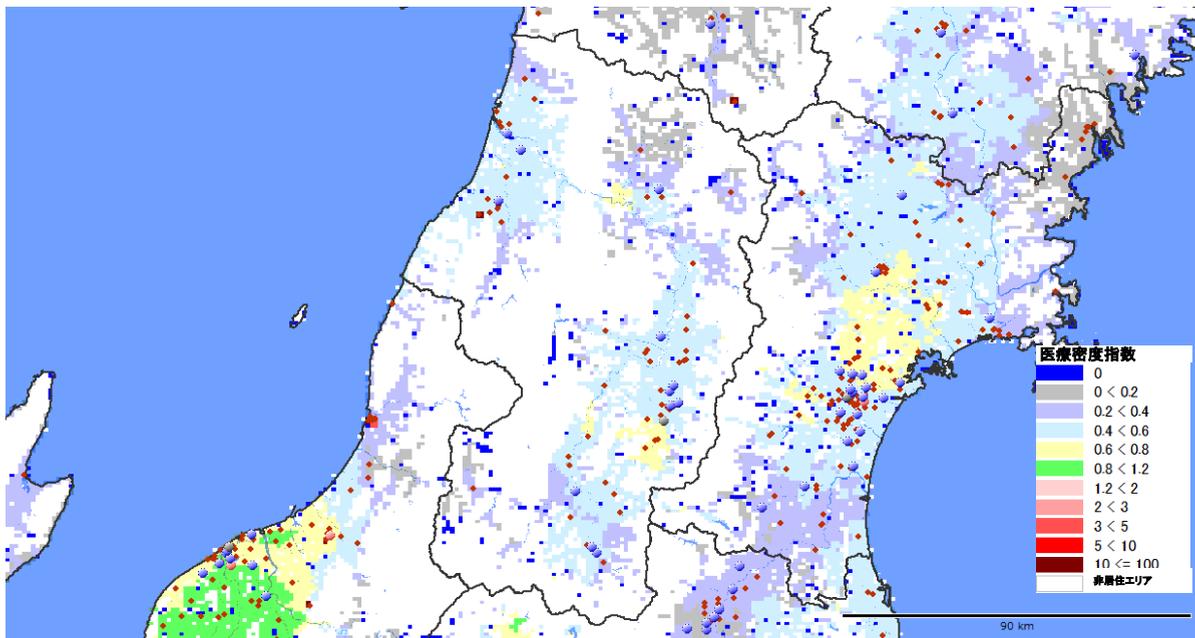


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表6-1 急性期医療密度指数マップ



図表6-2 慢性期医療密度指数マップ



6. 山形県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 6-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
山形県	1,116	35位	9,323	9位	119.7		31%	1,006	836	190	207	210	-10%	-17%	9%	1%
村山	546	49%	2,619	28%	208.5	地方都市型	30%	504	433	88	100	105	-8%	-14%	14%	5%
最上	78	7%	1,804	19%	43.5	過疎地域型	33%	68	53	15	15	15	-13%	-22%	0%	0%
置賜	215	19%	2,496	27%	86.0	地方都市型	31%	191	156	37	39	38	-11%	-18%	5%	-3%
庄内	277	25%	2,405	26%	115.3	地方都市型	33%	243	194	50	53	51	-12%	-20%	6%	-4%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資\_図表 6-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
山形県	1.27	0.71	-6.2%	-7.6%
村山	1.39	0.66	-13.2%	-18.1%
最上	1.23	0.55	21.1%	19.0%
置賜	1.21	0.67	3.4%	3.6%
庄内	1.10	0.87	-14.5%	-10.5%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資\_図表 6-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
山形県	329	52	0.925	283	58
村山	340	55	1.009	262	52
最上	292	44	0.910	294	61
置賜	336	54	0.997	287	59
庄内	315	49	0.923	313	66
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 6-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
山形県	68	0.8%	6.1	49	932	0.9%	83	52
村山	33	49%	6.0	48	486	52%	89	55
最上	5	7%	6.4	49	53	6%	68	44
置賜	14	21%	6.5	50	159	17%	74	47
庄内	16	24%	5.8	48	234	25%	84	53
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 6-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
山形県	932	0.9%	83	52	865	0.9%	77	53	67	0.8%	6.0	49
村山	486	52%	89	55	453	52%	83	55	33	49%	6.0	49
最上	53	6%	68	44	50	6%	64	45	3	4%	3.8	46
置賜	159	17%	74	47	149	17%	69	48	10	15%	4.7	47
庄内	234	25%	84	53	213	25%	77	52	21	31%	7.6	51
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

6. 山形県（2016年版）

資\_図表 6-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
山形県	14,921	1.0%	1,337	52	749	0.7%	67	48	15,670	0.9%	1,404	51
村山	7,924	53%	1,451	54	372	50%	68	48	8,296	53%	1,520	53
最上	1,029	7%	1,313	51	44	6%	56	47	1,073	7%	1,369	51
置賜	2,645	18%	1,232	50	108	14%	50	46	2,753	18%	1,283	49
庄内	3,323	22%	1,198	49	225	30%	81	49	3,548	23%	1,280	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 6-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
山形県	9,137	1.0%	819	55	1,925	0.6%	172	46	3,817	1.1%	342	53
村山	4,905	54%	898	58	689	36%	126	44	2,298	60%	421	57
最上	735	8%	938	60	112	6%	143	44	180	5%	230	48
置賜	1,703	19%	793	54	380	20%	177	46	558	15%	260	50
庄内	1,794	20%	647	47	744	39%	268	50	781	20%	282	51
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 6-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
山形県	726	1.0%	65	52	550	1.5%	49	53
村山	258	36%	47	48	234	43%	43	52
最上	44	6%	56	50	40	7%	51	53
置賜	120	17%	56	50	220	40%	103	64
庄内	304	42%	110	61	56	10%	20	47
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局（関東信越厚生局のみ7月公表分）。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資\_図表 6-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23)
山形県	7,561	6,757	356	7,091	2,173	1,725	75.7%	60	17.1%	53
村山	3,763	3,628	61	3,988	1,086	784	77.0%	60	7.2%	49
最上	579	557	20	450	178	92	75.8%	60	17.9%	54
置賜	1,558	1,363	41	1,071	324	339	80.8%	62	10.8%	51
庄内	1,661	1,209	234	1,582	585	510	67.4%	56	31.5%	60
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 6-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
山形県	21,096	0.7%	1,890	47	9,948	1.0%	891	53
村山	11,592	55%	2,123	49	5,124	52%	939	55
最上	744	4%	949	38	492	5%	628	44
置賜	2,196	10%	1,023	39	1,572	16%	732	47
庄内	6,564	31%	2,367	51	2,760	28%	995	57
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 6-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
山形県	2,774	0.8%	248	48	1,709	0.8%	153	48	1,065	0.8%	95	48
村山	1,632	59%	299	53	1,040	61%	190	54	592	56%	108	52
最上	138	5%	176	40	84	5%	108	41	54	5%	68	39
置賜	453	16%	211	44	272	16%	127	44	181	17%	84	44
庄内	551	20%	199	42	312	18%	113	42	238	22%	86	45
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

6. 山形県（2016年版）

資\_図表 6-12 専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
山形県	105	0.7%	9.4	46	94	0.8%	8.4	47	94	0.9%	8.4	50
村山	70	67%	12.8	51	59	63%	10.8	52	56	60%	10.3	55
最上	4	4%	5.1	39	5	5%	6.4	42	3	3%	3.8	38
置賜	10	10%	4.7	39	13	14%	6.1	42	14	15%	6.5	46
庄内	21	20%	7.6	43	17	18%	6.1	42	21	22%	7.6	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 6-13 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
山形県	43	0.8%	3.9	49	79	0.8%	7.1	49	67	0.9%	6.0	50
村山	29	67%	5.3	55	53	67%	9.7	57	43	64%	7.9	58
最上	0	0%	0	30	3	4%	3.8	39	4	6%	5.1	47
置賜	5	12%	2.3	41	9	11%	4.2	40	8	12%	3.7	42
庄内	9	21%	3.2	46	14	18%	5.0	43	12	18%	4.3	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 6-14 専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
山形県	76	0.9%	6.8	51	151	0.7%	13.5	46	170	1.1%	15.2	57
村山	50	66%	9.2	57	90	60%	16.5	51	114	67%	20.9	69
最上	1	1%	1.3	35	7	5%	8.9	40	5	3%	6.4	37
置賜	9	12%	4.2	43	26	17%	12.1	44	21	12%	9.8	45
庄内	16	21%	5.8	48	28	19%	10.1	42	30	18%	10.8	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 6-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
山形県	60	1.1%	5.4	54	53	0.8%	4.7	49	42	0.8%	3.8	49
村山	36	60%	6.6	60	33	62%	6.0	54	32	76%	5.9	56
最上	3	5%	3.8	47	2	4%	2.6	40	2	5%	2.6	45
置賜	10	17%	4.7	51	10	19%	4.7	48	4	10%	1.9	42
庄内	11	18%	4.0	47	8	15%	2.9	41	4	10%	1.4	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 6-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
山形県	41	0.6%	3.7	45	14	0.9%	1.3	50	18	0.5%	1.6	44
村山	29	71%	5.3	50	7	50%	1.3	51	11	61%	2.0	47
最上	1	2%	1.3	37	0	0%	0	37	0	0%	0	35
置賜	5	12%	2.3	41	2	14%	0.9	47	4	22%	1.9	46
庄内	6	15%	2.2	40	5	36%	1.8	56	3	17%	1.1	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 6-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
山形県	11	0.6%	1.0	45	22	0.9%	2.0	51
村山	6	55%	1.1	46	18	82%	3.3	61
最上	1	9%	1.3	48	0	0%	0	36
置賜	0	0%	0	37	1	5%	0.5	39
庄内	4	36%	1.4	49	3	14%	1.1	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

6. 山形県（2016年版）

資\_図表 6-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
山形県	10,637	1.0%	953	53	8,662	1.0%	776	53	1,975	1.0%	177	53
村山	5,632	53%	1,032	56	4,655	54%	853	56	977	49%	179	53
最上	633	6%	808	48	524	6%	668	48	109	6%	139	48
置賜	1,735	16%	808	48	1,508	17%	702	50	227	11%	106	43
庄内	2,638	25%	951	53	1,976	23%	713	50	662	34%	239	61
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 6-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
山形県	1,022	0.9%	92	49	1,991	0.7%	178	45
村山	500	49%	92	49	1,105	55%	202	47
最上	42	4%	54	42	106	5%	135	41
置賜	173	17%	81	47	344	17%	160	43
庄内	307	30%	111	53	436	22%	157	43
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 6-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
山形県	88	0.6%	0.5	41	8	0.7%	0.0	46	71	0.7%	0.4	39
村山	31	35%	0.4	38	1	13%	0.0	41	33	46%	0.4	39
最上	5	6%	0.3	38	0	0%	0	39	5	7%	0.3	37
置賜	18	20%	0.5	41	5	63%	0.1	60	13	18%	0.3	37
庄内	34	39%	0.7	45	2	25%	0.0	46	20	28%	0.4	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資\_図表 6-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	介護保険施設定員(病床)数			高齢者住宅定員数							
		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差					
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
山形県	17,009	1.0%	90	44	12,439	1.3%	65	55	4,570	0.7%	24	40
村山	7,830	46%	89	44	5,472	44%	62	52	2,358	52%	27	41
最上	1,623	10%	111	57	1,319	11%	90	74	304	7%	21	37
置賜	3,330	20%	90	44	2,502	20%	67	56	828	18%	22	38
庄内	4,226	25%	85	41	3,146	25%	63	53	1,080	24%	22	38
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計			老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計			有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計					

資\_図表 6-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	特別養護老人ホーム(特養)定員数			介護療養病床数							
		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差					
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
山形県	4,061	1.1%	21	49	8,133	1.5%	43	59	245	0.4%	1.3	43
村山	1,422	35%	16	40	3,876	48%	44	60	174	71%	2.0	45
最上	410	10%	28	60	909	11%	62	78	0	0%	0	40
置賜	1,037	26%	28	60	1,429	18%	38	55	36	15%	1.0	42
庄内	1,192	29%	24	53	1,919	24%	38	55	35	14%	0.7	42
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 6-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	軽費ホーム			グループホーム							
		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差					
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
山形県	1,122	0.5%	5.9	43	120	0.5%	0.6	46	2,109	1.1%	11.1	49
村山	819	73%	9.3	46	50	42%	0.6	46	894	42%	10.1	47
最上	70	6%	4.8	41	0	0%	0	43	81	4%	5.5	39
置賜	212	19%	5.7	42	20	17%	0.5	46	513	24%	13.8	54
庄内	21	2%	0.4	37	50	42%	1.0	48	621	29%	12.4	51
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

6. 山形県（2016年版）

資\_図表 6-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）				サ高住（特定施設）				サ高住（非特定施設）			
	サ高住 （全施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
山形県	1,219	0.6%	6.4	40	60	0.5%	0.3	47	1,159	0.6%	6.1	40
村山	595	49%	6.7	41	20	33%	0.2	46	575	50%	6.5	41
最上	153	13%	10.4	46	40	67%	2.7	62	113	10%	7.7	43
置賜	83	7%	2.2	34	0	0%	0	45	83	7%	2.2	34
庄内	388	32%	7.8	42	0	0%	0	45	388	33%	7.8	43
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 6-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
山形県	1,460	0.9%	7.7	41	1,113	0.9%	5.9	44	346	0.8%	1.8	41
村山	672	46%	7.6	41	493	44%	5.6	43	180	52%	2.0	44
最上	108	7%	7.4	40	95	9%	6.5	47	13	4%	0.9	30
置賜	292	20%	7.8	42	227	20%	6.1	45	64	19%	1.7	40
庄内	388	27%	7.8	42	298	27%	6.0	44	90	26%	1.8	41
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 6-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （介護施設 等）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （在宅）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
山形県	16,193	1.1%	85	46	14,505	1.2%	76	50	1,687	0.8%	8.9	41
村山	7,020	43%	80	41	6,454	44%	73	47	566	34%	6.4	37
最上	1,210	7%	83	44	1,094	8%	75	48	116	7%	7.9	40
置賜	3,168	20%	85	46	2,831	20%	76	50	337	20%	9.1	42
庄内	4,795	30%	96	55	4,126	28%	83	55	668	40%	13.4	50
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 6-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
山形県	7,497	0.7%	39	42	3,726	0.9%	20	45	9,485	0.6%	50	37
村山	3,336	44%	38	41	1,912	51%	22	47	3,541	37%	40	34
最上	172	2%	12	32	167	4%	11	37	733	8%	50	37
置賜	1,119	15%	30	39	788	21%	21	46	1,783	19%	48	36
庄内	2,870	38%	57	47	859	23%	17	43	3,428	36%	69	43
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 6-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
山形県		1,216,181	1,116,236	-8%	1,005,850	-17%	2%	-2%	0%
村山	地方都市型	577,160	545,960	-5%	504,022	-13%	5%	0%	6%
最上	過疎地域型	90,740	78,381	-14%	67,536	-26%	-4%	-6%	-9%
置賜	地方都市型	238,788	214,624	-10%	190,869	-20%	-1%	-4%	-6%
庄内	地方都市型	309,493	277,271	-10%	243,423	-21%	0%	-4%	-4%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,屋間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資\_図表 6-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
山形県	70	5.8	46	68	6.1	49	-2	-3%	66
村山	35	6.1	47	33	6.0	48	-2	-6%	31
最上	6	6.6	49	5	6.4	49	-1	-17%	4
置賜	13	5.4	46	14	6.5	50	1	8%	15
庄内	16	5.2	45	16	5.8	48	0	0%	16
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

6. 山形県（2016年版）

資\_図表 6-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
山形県	920	76	50	932	83	52	12	1%	946
村山	458	79	52	486	89	55	28	6%	517
最上	56	62	43	53	68	44	-3	-5%	50
置賜	157	66	45	159	74	47	2	1%	161
庄内	249	80	52	234	84	53	-15	-6%	218
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 6-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
山形県	2,431	200	49	2,606	233	49	175	7%	2,799
村山	1,429	248	54	1,577	289	54	148	10%	1,740
最上	121	133	41	109	139	39	-12	-10%	96
置賜	361	151	43	380	177	43	19	5%	401
庄内	520	168	45	540	195	45	20	4%	562
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 6-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
山形県	16,768	138	49	15,670	140	51	-1,098	-7%	14,462
村山	8,695	151	52	8,296	152	53	-399	-5%	7,857
最上	1,248	138	49	1,073	137	51	-175	-14%	881
置賜	2,679	112	45	2,753	128	49	74	3%	2,834
庄内	4,146	134	49	3,548	128	49	-598	-14%	2,890
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 6-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
山形県	11,124	91	53	9,775	88	53	-1,349	-12%	8,291	82
村山	5,474	95	54	5,232	96	56	-242	-4%	4,966	99
最上	923	102	56	779	99	58	-144	-16%	621	92
置賜	1,962	82	49	1,795	84	52	-167	-9%	1,611	84
庄内	2,765	89	52	1,969	71	47	-796	-29%	1,093	45
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 6-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
山形県	1,977	13	39	2,036	11	41	59	3%	2,101	10
村山	926	13	39	734	8	39	-192	-21%	523	5
最上	116	9	37	112	8	39	-4	-3%	108	7
置賜	343	11	38	396	11	41	53	15%	454	12
庄内	592	14	40	794	16	46	202	34%	1,016	19
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

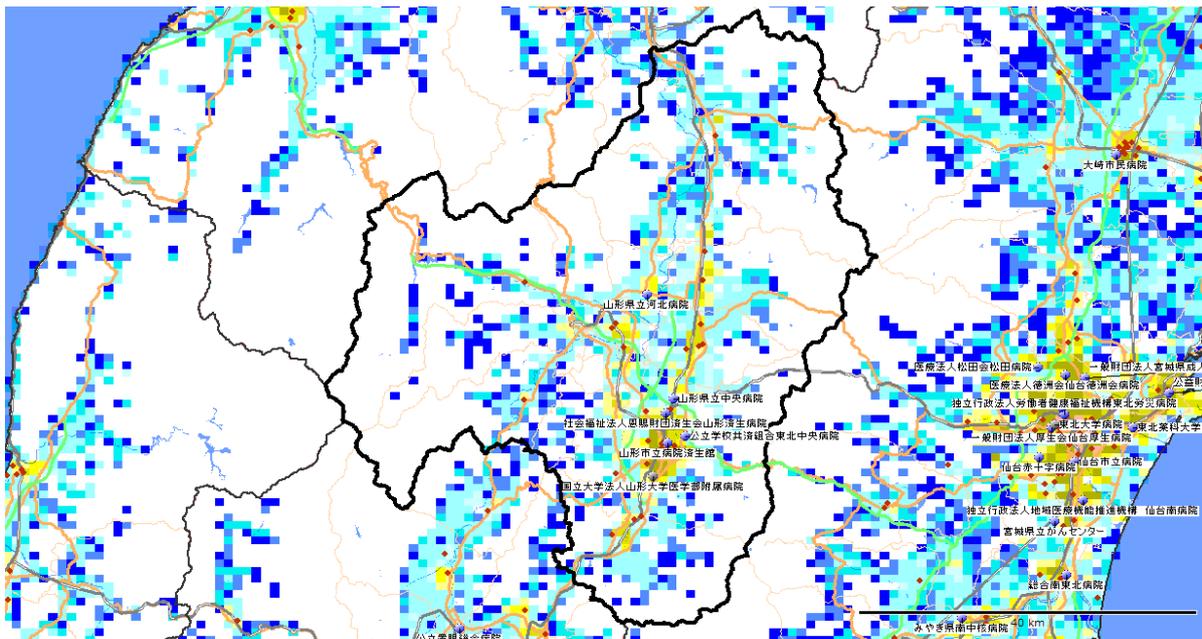
資\_図表 6-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
山形県	338	53	0.983	133	52	0.998	182	53	0.981
村山	346	54	1.001	137	54	1.022	185	54	0.989
最上	305	45	0.918	125	50	0.969	158	39	0.887
置賜	355	57	1.023	142	55	1.055	190	58	1.016
庄内	323	49	0.918	122	48	0.893	180	52	0.947
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 6-1. むらやま 村山医療圏

構成市区町村 <sup>10</sup>	<a href="#">山形市</a>	<a href="#">寒河江市</a>	<a href="#">上山市</a>	<a href="#">村山市</a>
	<a href="#">天童市</a>	<a href="#">東根市</a>	<a href="#">尾花沢市</a>	<a href="#">山辺町</a>
	<a href="#">中山町</a>	<a href="#">河北町</a>	<a href="#">西川町</a>	<a href="#">朝日町</a>
	<a href="#">大江町</a>	<a href="#">大石田町</a>		

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (村山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 村山(山形市)は、総人口約546千人(2015年推計)、面積2619km<sup>2</sup>、人口密度は208人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 村山の総人口は2025年に504千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に433千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の88千人が、2025年にかけて100千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には105千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 村山の一人当たり医療費(国保)は340千円(偏差値55)、介護給付費は262千円(偏差値52)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 村山の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.66で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が53(病院医師数54、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。村山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の山形県立中央病院(Ⅱ群・救命)、山形大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の山形市立病院済生館(Ⅲ群)、500例以上の山形済生病院(Ⅲ群)、東北中央病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 村山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7830人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5472床(偏差値52)、高齢者住宅等が2358床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6454人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム46、軽費ホーム46、グループホーム47、サ高住41である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、566人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

村山医療圏の総人口は、2005年577160人が、2015年に545960人と5%減少し、2025年の人口が504022人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

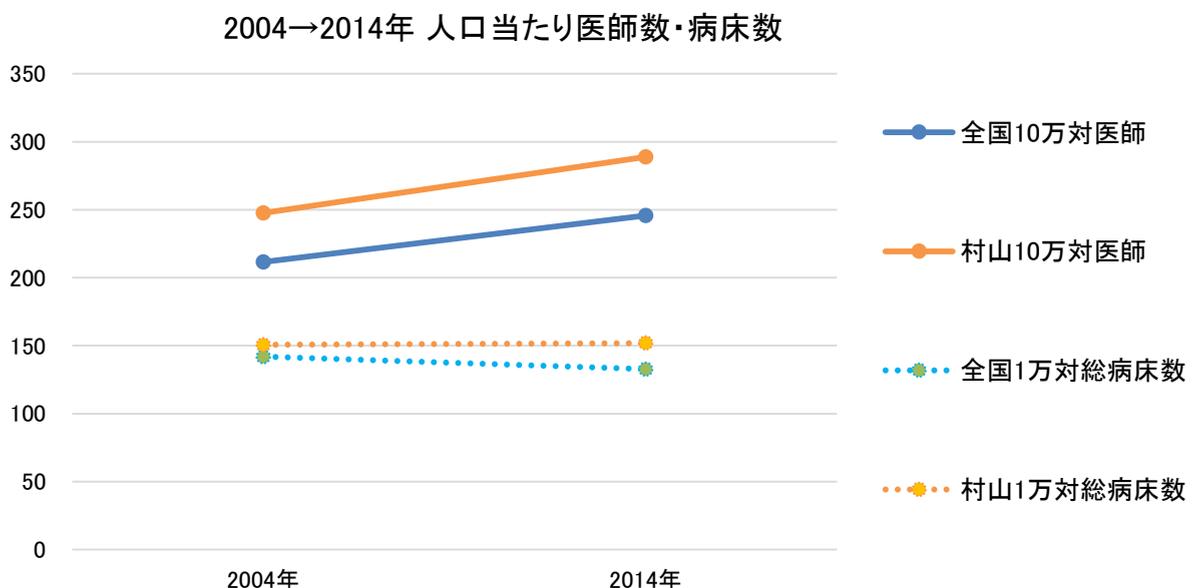
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が35(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に33(人口10万人当たり6病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が458(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に486(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、28診療所が増加した。

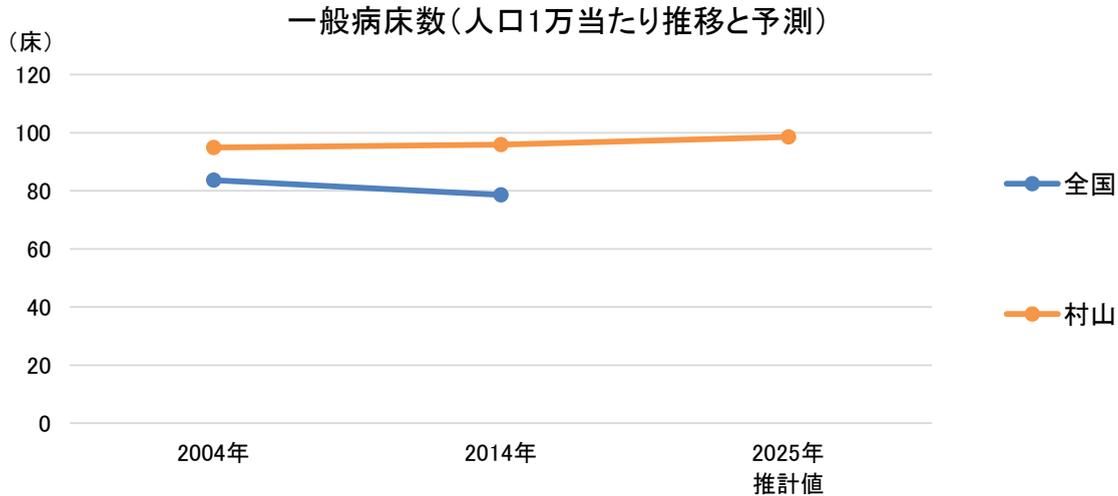
2004年の総病床数が8695床(人口1万人当たり151(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に8296床(人口1万人当たり152(全国平均133)偏差値53)と、399床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1429人(人口10万人当たり248人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に1577人(人口10万人当たり289人(全国平均246人)偏差値54)と、148人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



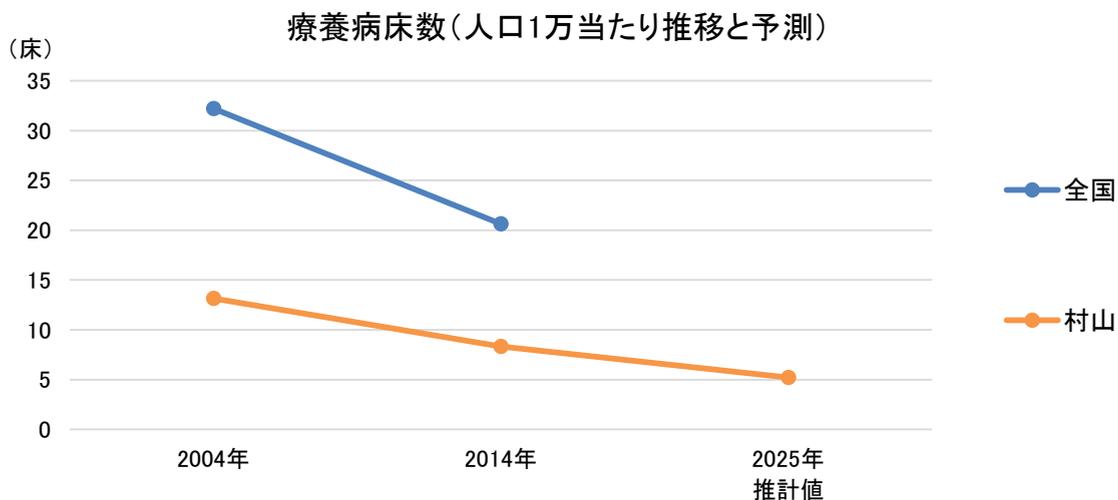
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5474床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に5232床(人口1万人当たり96(全国平均79)偏差値56)と、242床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4966床(2025年の推計人口1万人当たり99)になることが予想される。



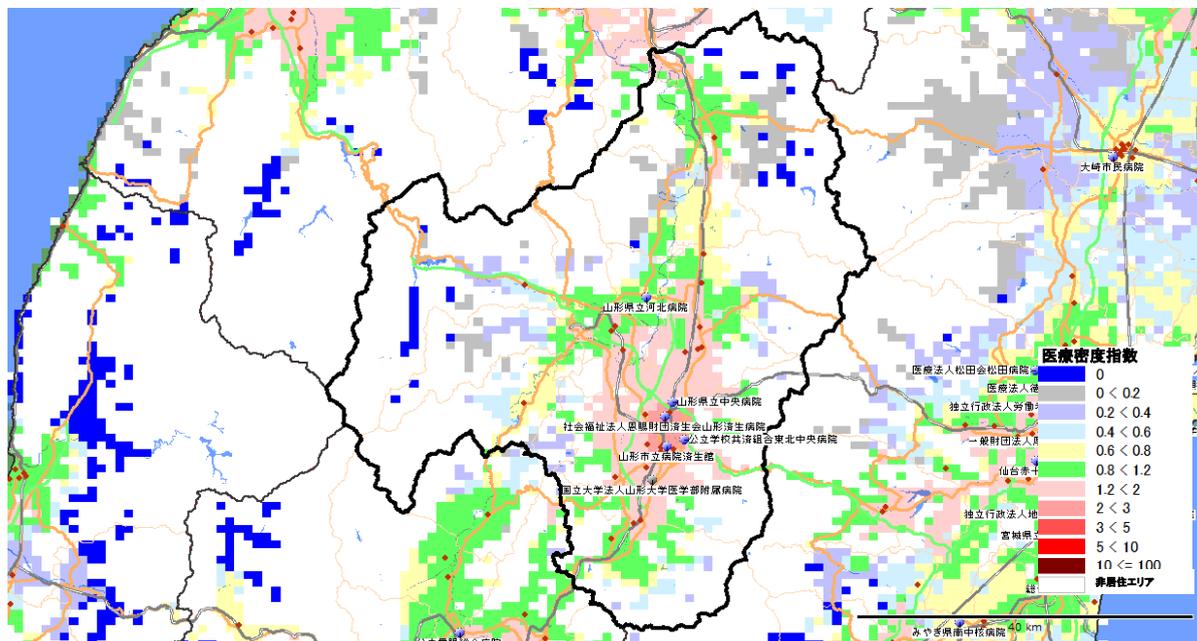
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が926床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に734床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、192床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には523床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。

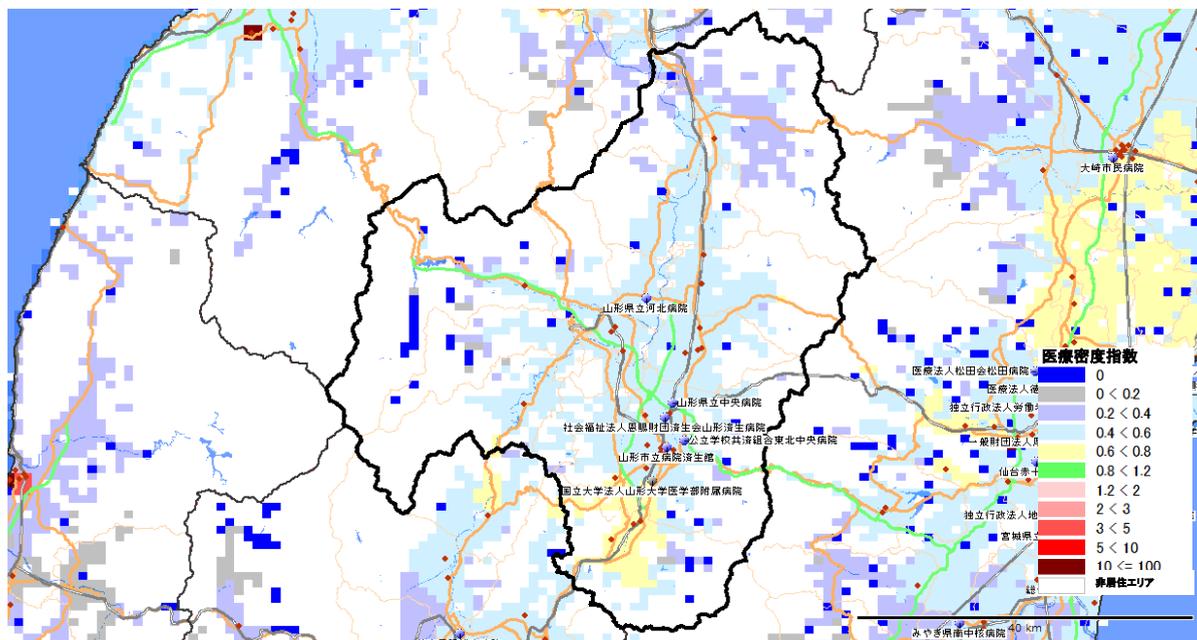


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表6-1-1 急性期医療密度指数マップ



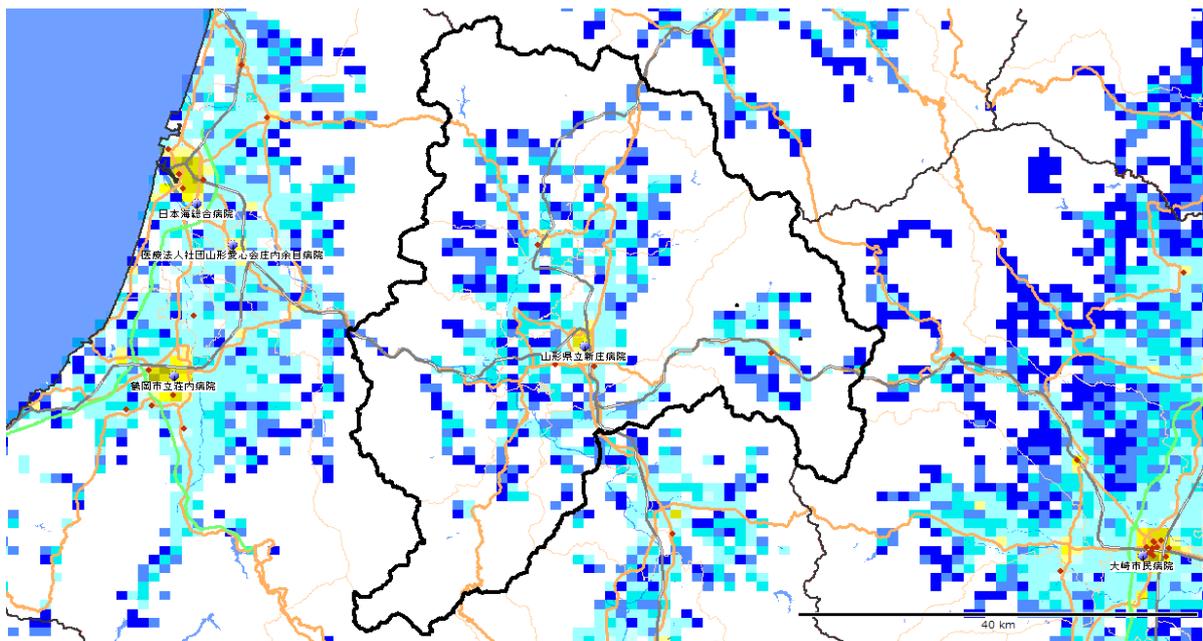
図表6-1-2 慢性期医療密度指数マップ



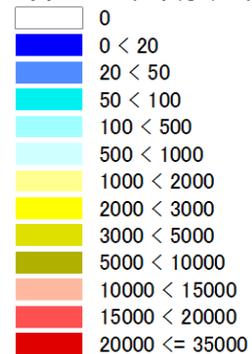
# 6-2. もがみ 最上医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [新庄市](#)      [金山町](#)      [最上町](#)      [舟形町](#)  
[真室川町](#)      [大蔵村](#)      [鮭川村](#)      [戸沢村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群  
一般病院

## （最上医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 最上(新庄市)は、総人口約78千人(2015年推計)、面積1804km<sup>2</sup>、人口密度は43人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 最上の総人口は2025年に68千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に53千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて15千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には15千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 最上の一人当たり医療費(国保)は292千円(偏差値44)、介護給付費は294千円(偏差値61)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 最上の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.23、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.55で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。最上には、年間全身麻酔件数が500例以上の山形県立新庄病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 最上の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1623人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1319床(偏差値74)、高齢者住宅等が304床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1094人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム78、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム39、サ高住46である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、116人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

最上医療圏の総人口は、2005年90740人が、2015年に78381人と14%減少し、2025年の人口が67536人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

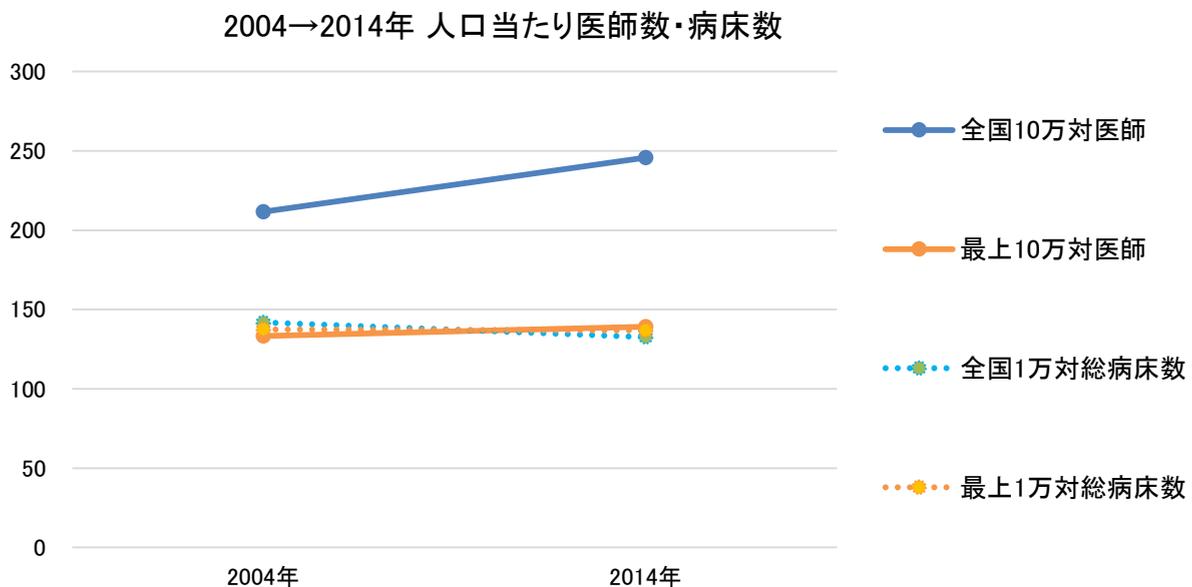
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり6.6病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に5(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が56(人口10万人当たり62診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に53(人口10万人当たり68診療所(全国平均79)偏差値44)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が1248床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に1073床(人口1万人当たり137(全国平均133)偏差値51)と、175床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

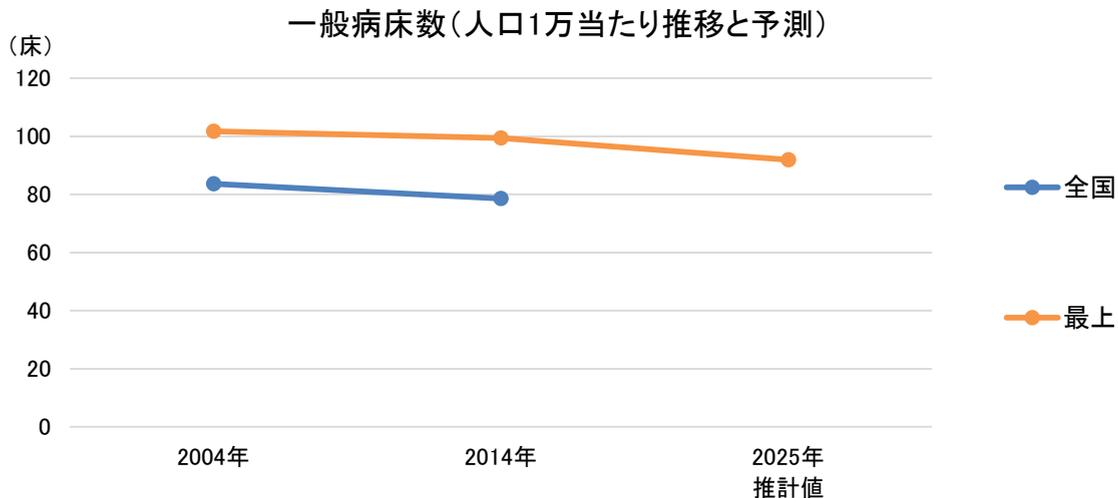
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が121人(人口10万人当たり133人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に109人(人口10万人当たり139人(全国平均246人)偏差値39)と、12人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



## 6. 山形県（2016年版）

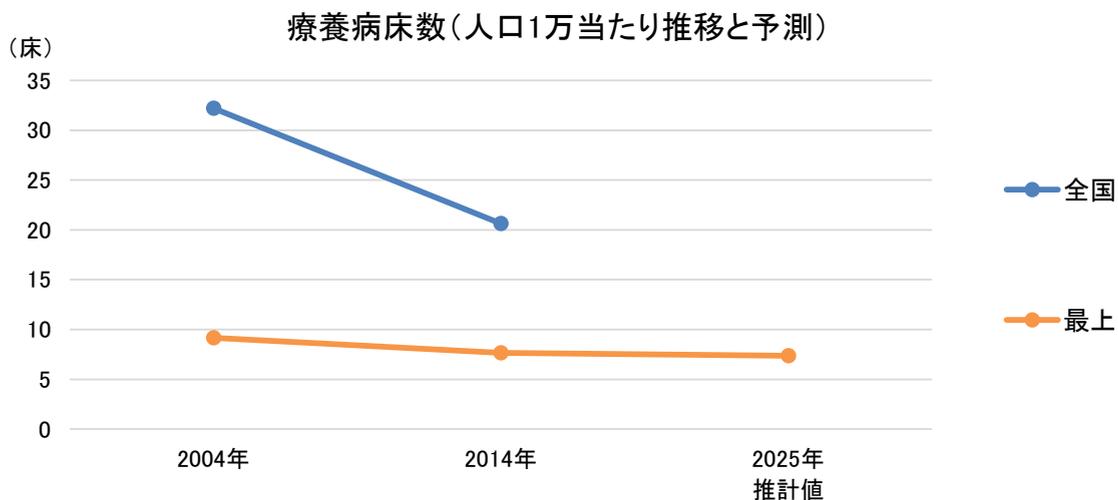
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が923床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に779床(人口1万人当たり99(全国平均79)偏差値58)と、144床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には621床(2025年の推計人口1万人当たり92)になることが予想される。



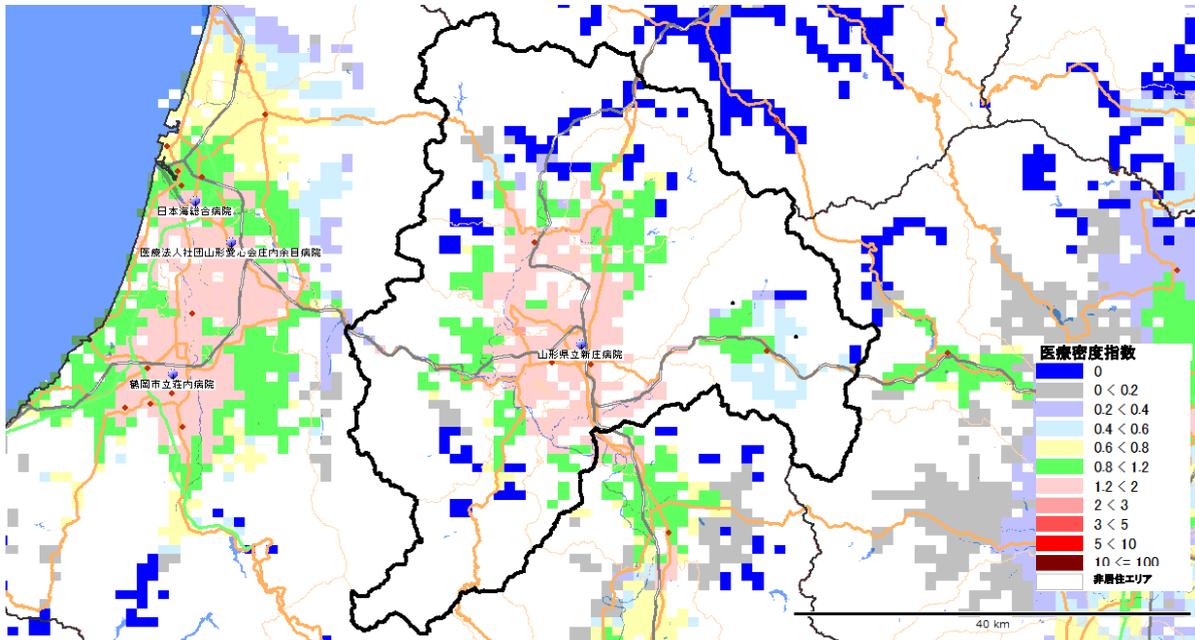
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が116床(75歳以上1000人当たり9(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に112床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、4床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には108床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。

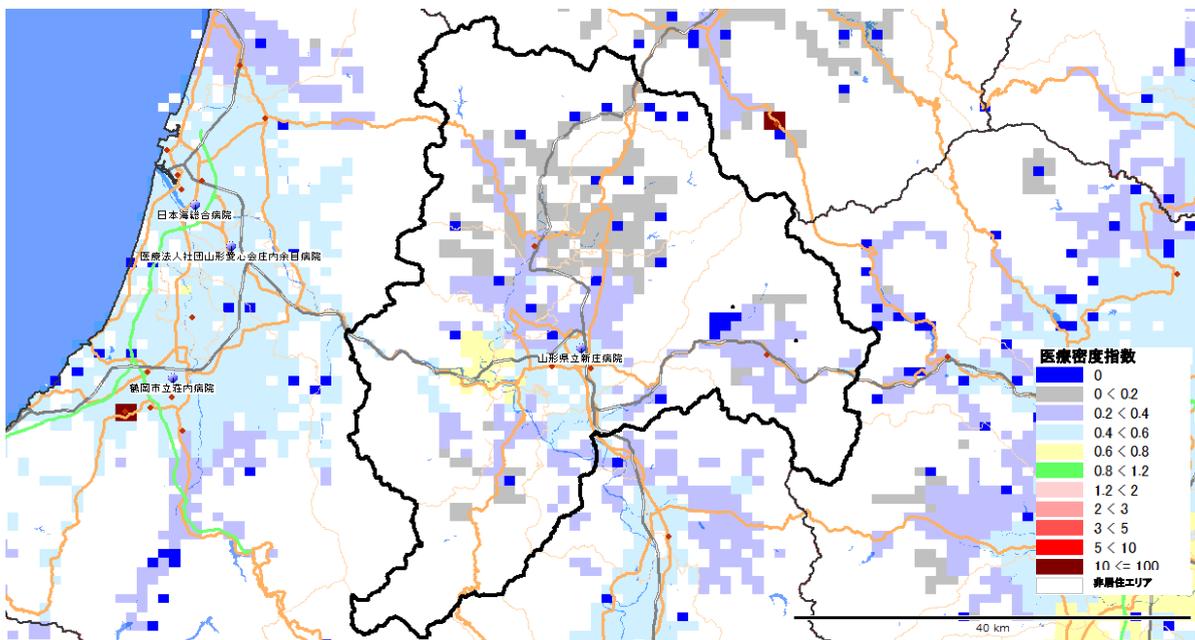


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表6-2-1 急性期医療密度指数マップ



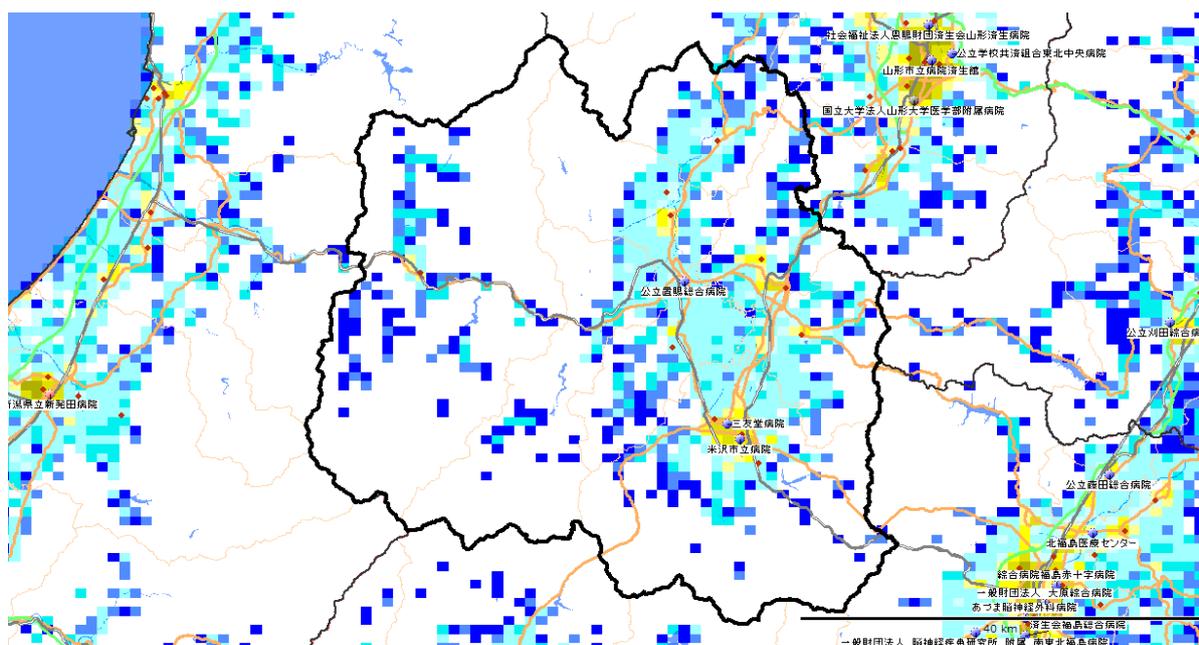
図表6-2-2 慢性期医療密度指数マップ



# 6-3. おきたま 置賜医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [米沢市](#) [川西町](#) [長井市](#) [小国町](#) [南陽市](#) [白鷹町](#) [高島町](#) [飯豊町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (置賜医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 置賜(米沢市)は、総人口約215千人(2015年推計)、面積2496km<sup>2</sup>、人口密度は86人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 置賜の総人口は2025年に191千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に156千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて39千人へと増加し(2015年比+5%)、2040年には38千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 置賜の一人当たり医療費(国保)は336千円(偏差値54)、介護給付費は287千円(偏差値59)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 置賜の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.21、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.67で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。置賜には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立置賜総合病院(Ⅲ群・救命)、米沢市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 置賜の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3330人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2502床(偏差値56)、高齢者住宅等が828床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2831人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム42、軽費ホーム46、グループホーム54、サ高住34である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、337人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+4%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

置賜医療圏の総人口は、2005年238788人が、2015年に214624人と10%減少し、2025年の人口が190869人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

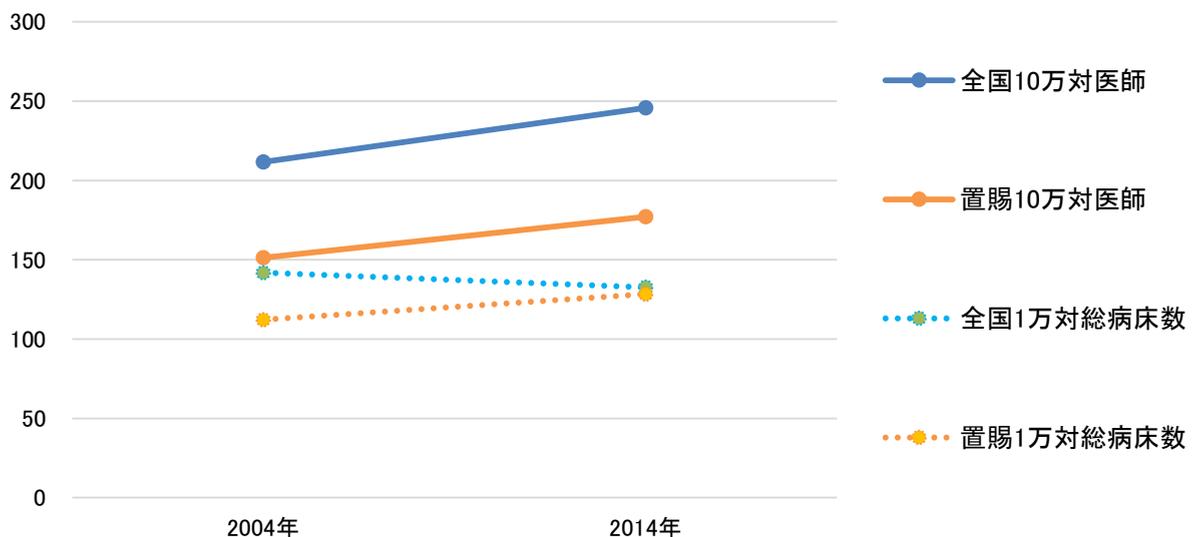
2004年の病院数が13(人口10万人当たり5.4病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に14(人口10万人当たり6.5病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が157(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に159(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が2679床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に2753床(人口1万人当たり128(全国平均133)偏差値49)と、74床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

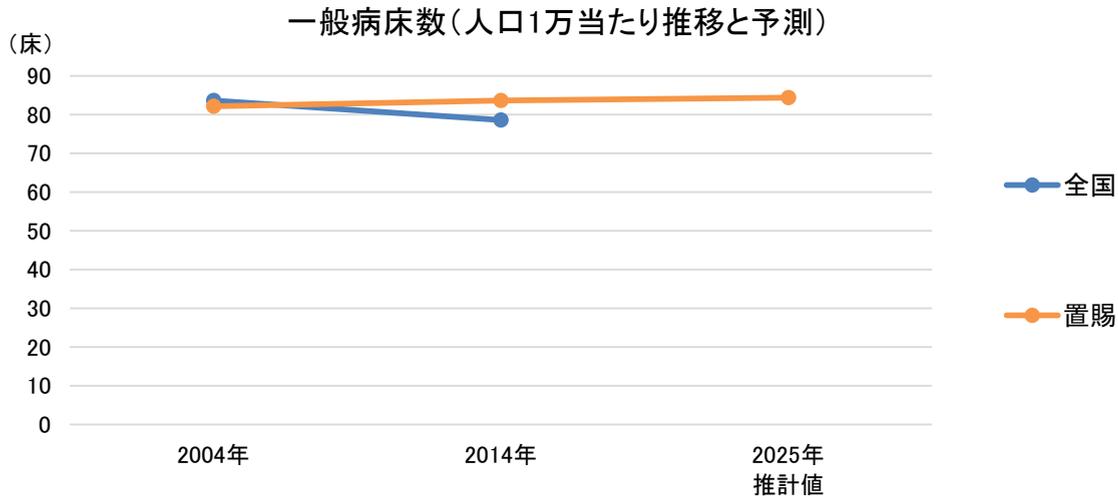
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が361人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に380人(人口10万人当たり177人(全国平均246人)偏差値43)と、19人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



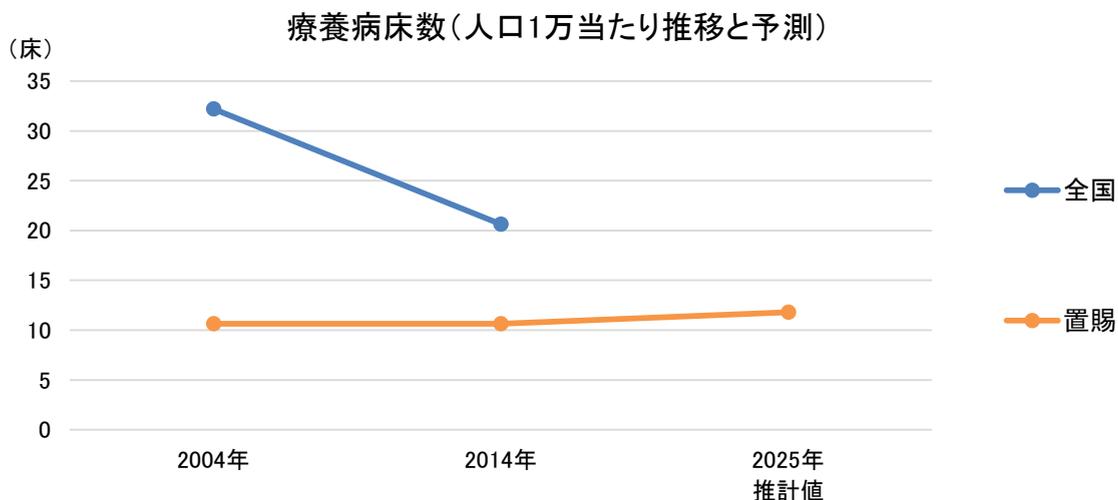
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1962床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に1795床(人口1万人当たり84(全国平均79)偏差値52)と、167床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1611床(2025年の推計人口1万人当たり84)になることが予想される。



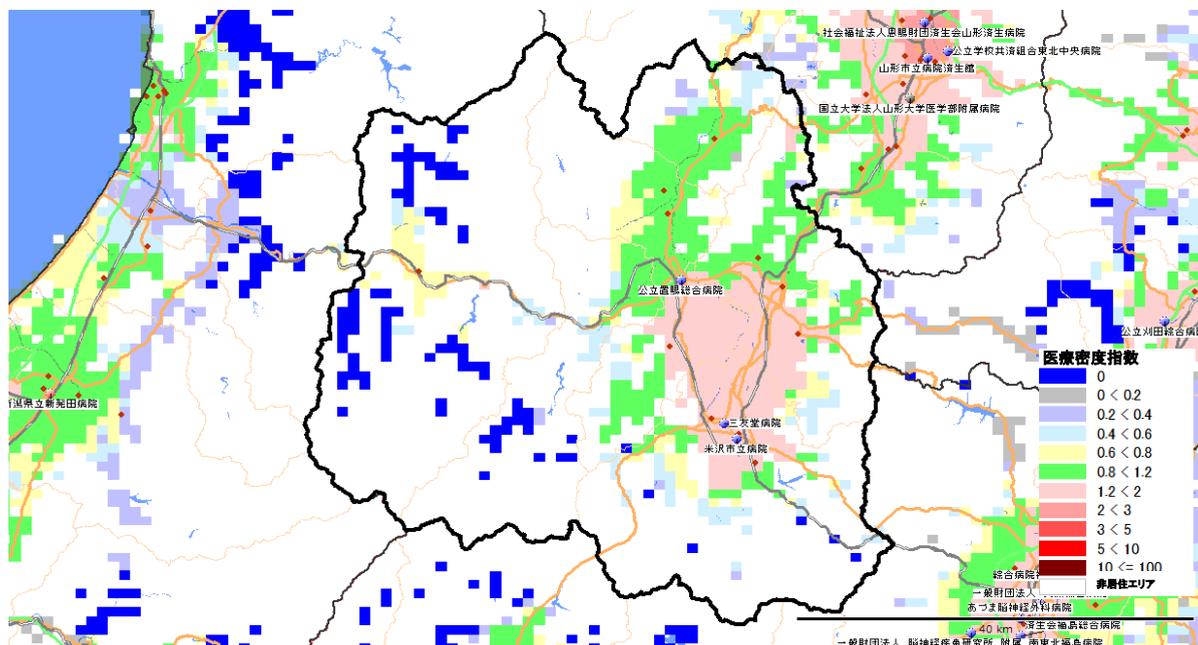
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が343床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に396床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、53床の増加、率にして15%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には454床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

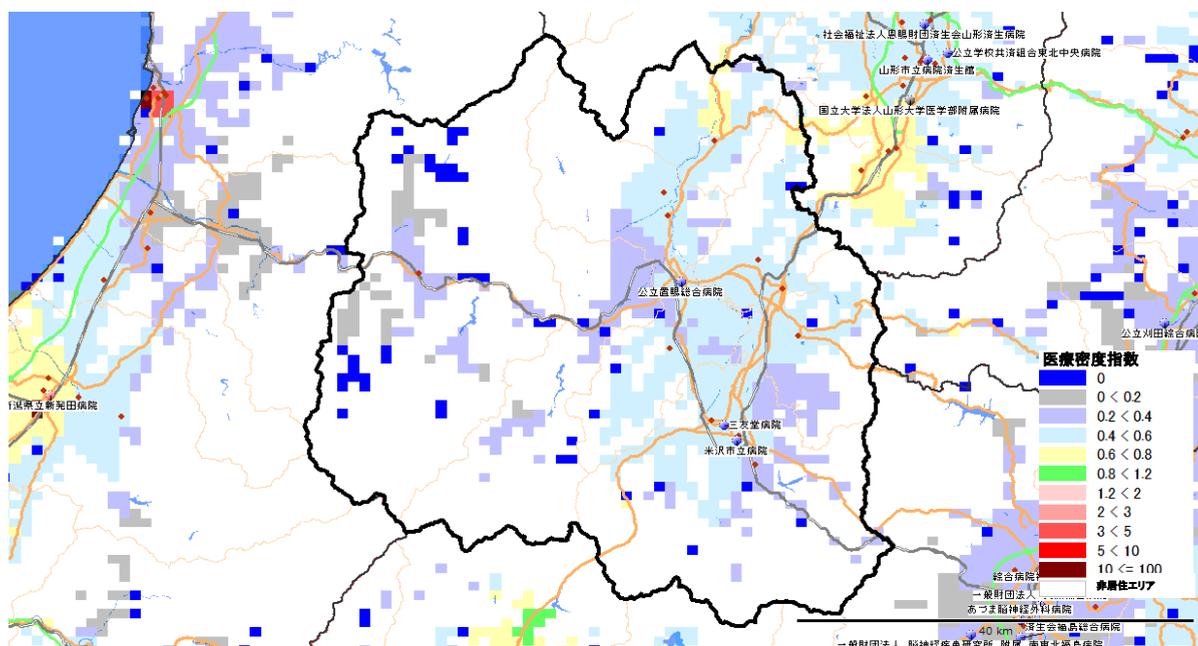


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表6-3-1 急性期医療密度指数マップ



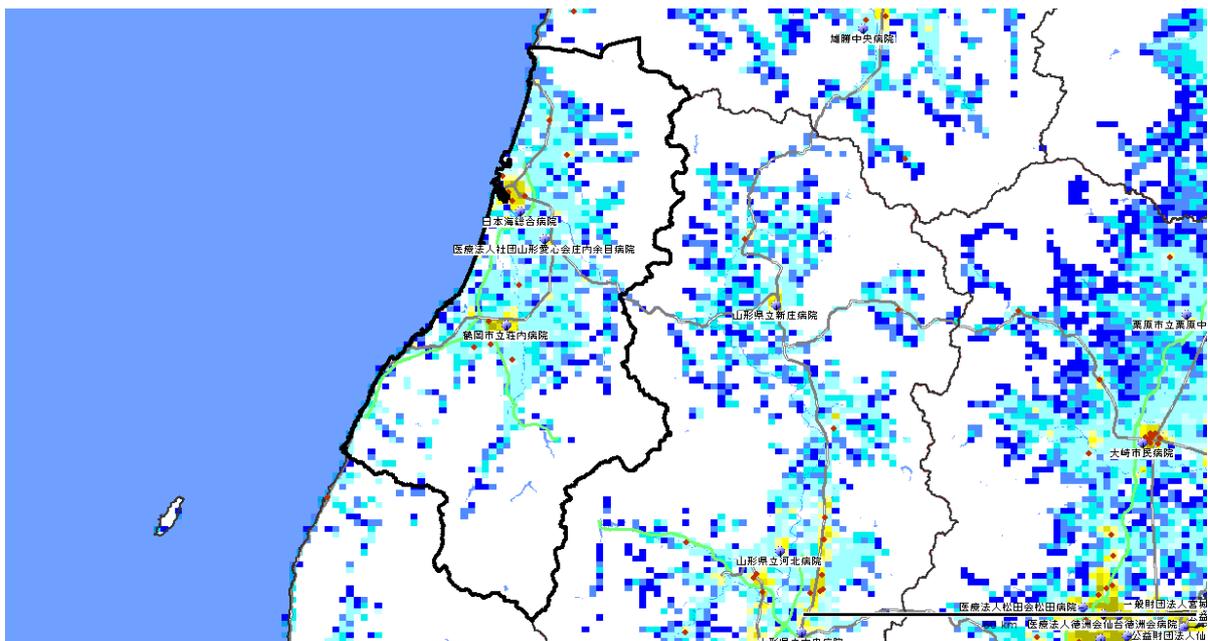
図表6-3-2 慢性期医療密度指数マップ



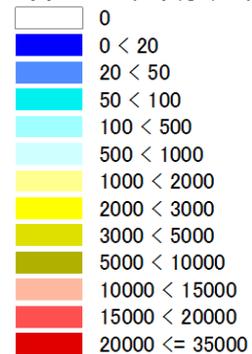
# 6-4. しょうない 庄内医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [鶴岡市](#) [酒田市](#) [三川町](#) [庄内町](#)  
[遊佐町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （庄内医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 庄内（鶴岡市）は、総人口約277千人（2015年推計）、面積2405km<sup>2</sup>、人口密度は115人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 庄内の総人口は2025年に243千人へと減少し（2015年比-12%）、2040年に194千人へと減少する（2025年比-20%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の50千人が、2025年にかけて53千人へと増加し（2015年比+6%）、2040年には51千人へと減少する（2025年比-4%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 庄内の一人当たり医療費（国保）は315千円（偏差値49）、介護給付費は313千円（偏差値66）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 庄内の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.1、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.87で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42（病院医師数42、診療所医師数45）と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。庄内には、年間全身麻酔件数が2000例以上の日本海総合病院（Ⅱ群・救命）、1000例以上の鶴岡市立荘内病院（Ⅲ群）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値61と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 庄内の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、4226人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3146床（偏差値53）、高齢者住宅等が1080床（偏差値38）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、4126人（75歳以上1000人当たりの偏差値55）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム37、軽費ホーム48、グループホーム51、サ高住42である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員（在宅）の合計は、668人（75歳以上1000人当たりの偏差値50）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

庄内医療圏の総人口は、2005年309493人が、2015年に277271人と10%減少し、2025年の人口が243423人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

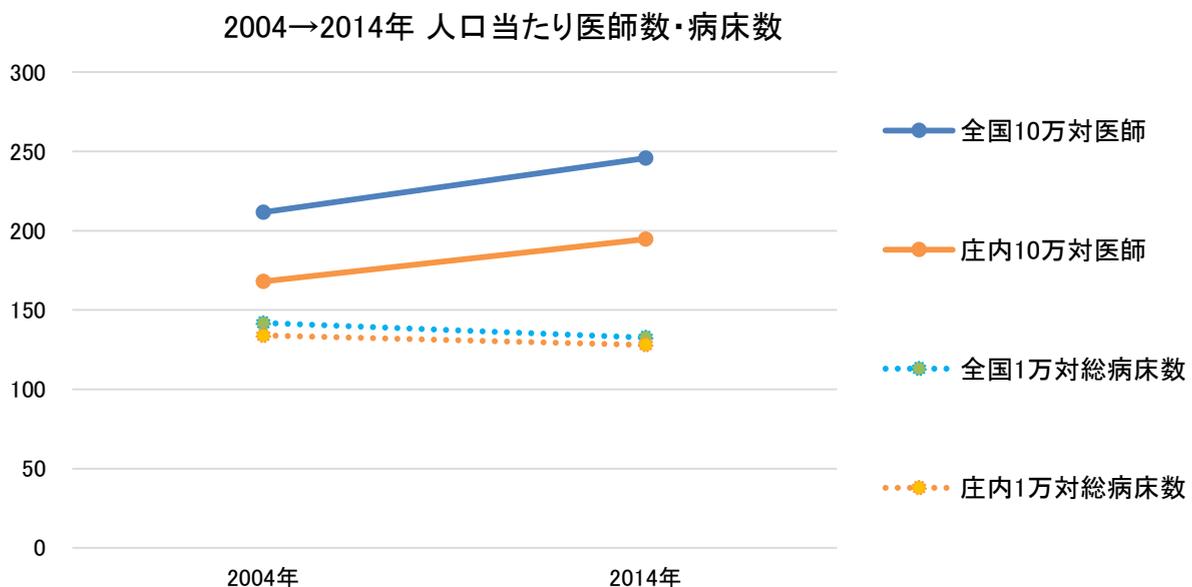
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が16(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に16(人口10万人当たり5.8病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が249(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に234(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値53)と、15診療所が減少した。

2004年の総病床数が4146床(人口1万人当たり134(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に3548床(人口1万人当たり128(全国平均133)偏差値49)と、598床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

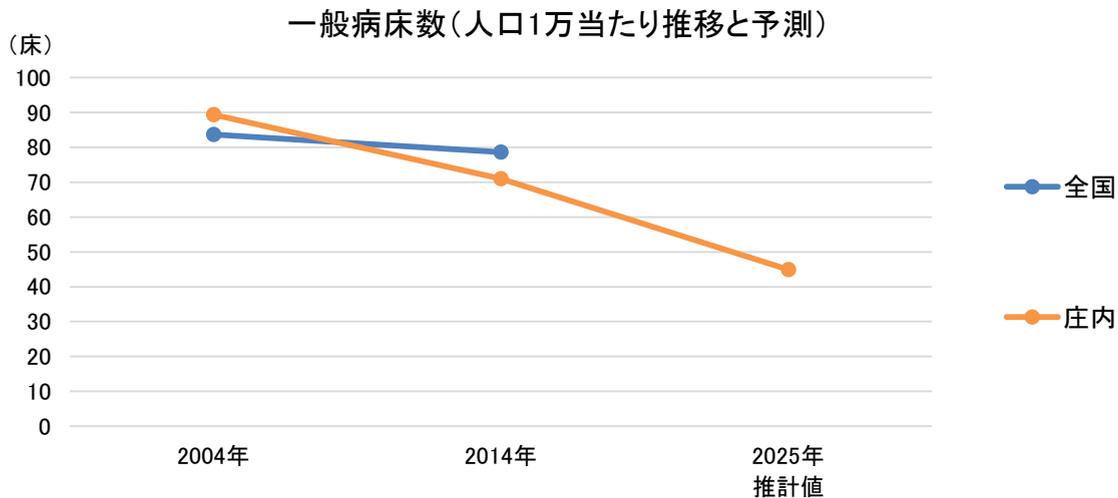
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が520人(人口10万人当たり168人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に540人(人口10万人当たり195人(全国平均246人)偏差値45)と、20人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 6. 山形県（2016年版）

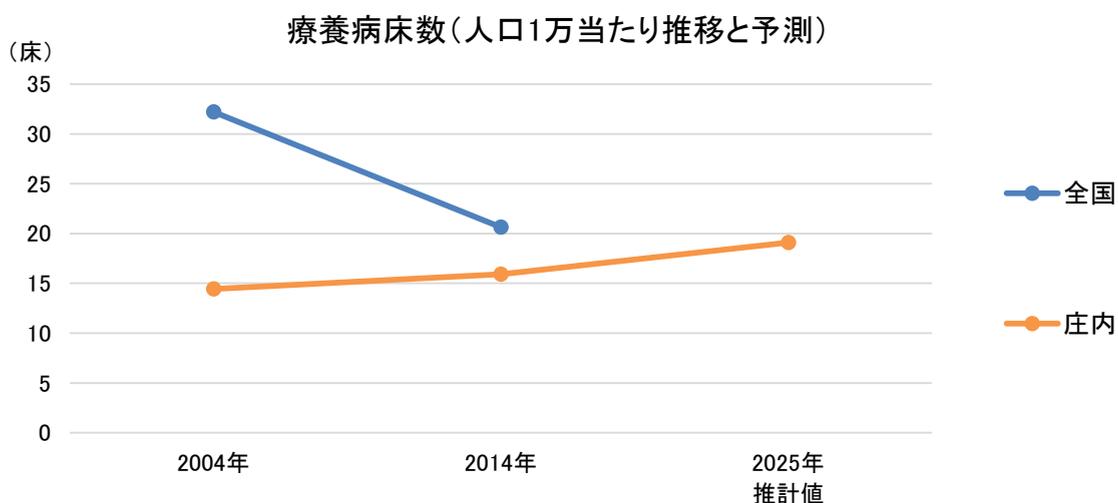
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2765床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に1969床(人口1万人当たり71(全国平均79)偏差値47)と、796床の減少、率にして29%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1093床(2025年の推計人口1万人当たり45)になることが予想される。



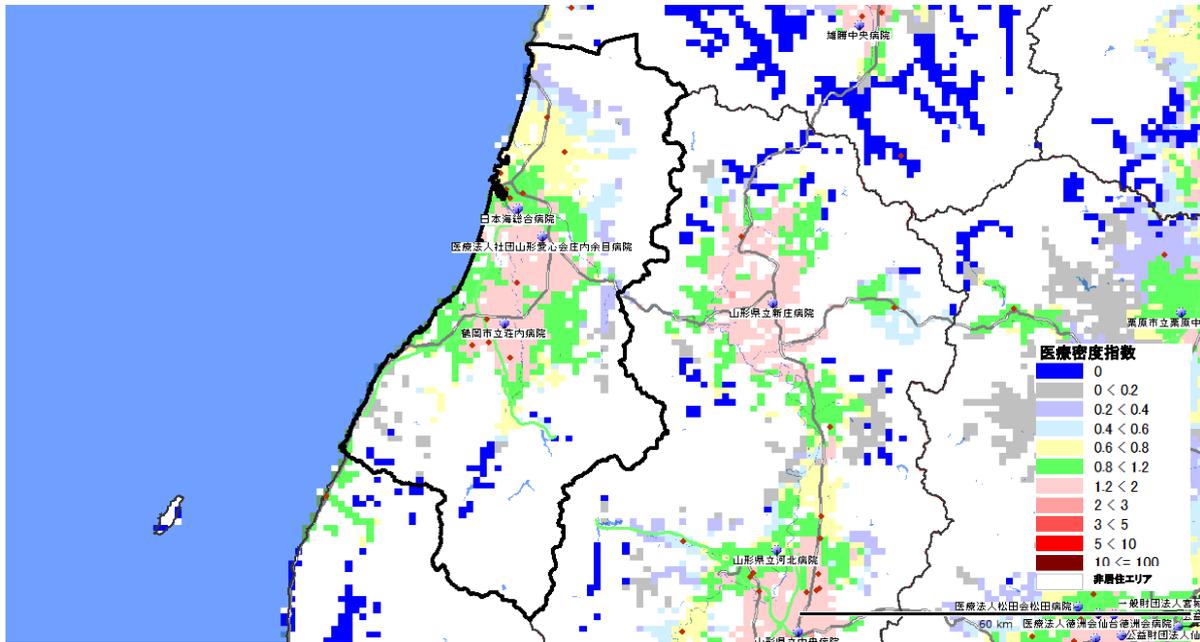
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が592床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に794床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、202床の増加、率にして34%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1016床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。

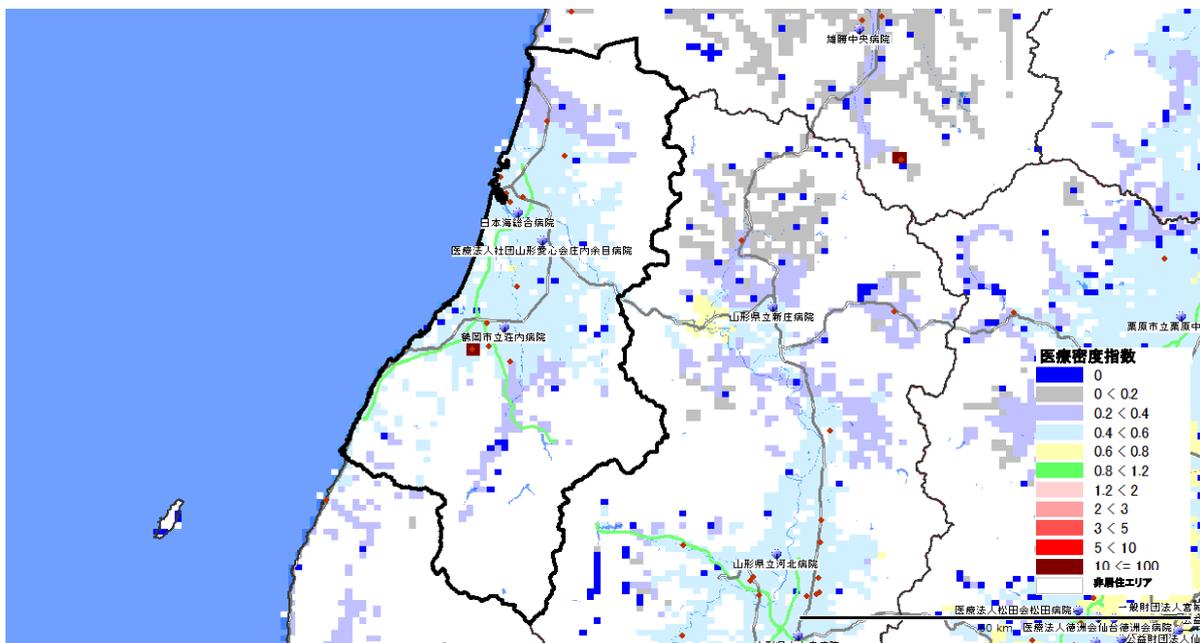


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表6-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表6-4-2 慢性期医療密度指数マップ



## 6. 山形県（2016年版）

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画（1km<sup>2</sup>メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km<sup>2</sup>以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km<sup>2</sup>）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km<sup>2</sup>未満）。白色は非居住地。  
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。